

平成29年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年10月31日

上場会社名 JIG-SAW株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3914 URL <https://www.jig-saw.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山川 真考  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 鈴木 博道 (TEL) 03-6635-6657  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第3四半期の連結業績 (平成29年1月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第3四半期	965	25.7	253	51.1	256	56.4	183	63.5
28年12月期第3四半期	768	—	167	—	163	—	112	—

(注) 包括利益 29年12月期第3四半期 267百万円( 9.6%) 28年12月期第3四半期 244百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第3四半期	28.13	26.75
28年12月期第3四半期	17.36	16.34

(注) 当社は、平成27年12月期連結会計年度末より連結財務諸表を作成しているため、平成28年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第3四半期	1,594	1,201	75.3
28年12月期	1,334	966	72.5

(参考) 自己資本 29年12月期第3四半期 1,201百万円 28年12月期 966百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年12月期	—	0.00	—	—	—
29年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成29年12月期の配当予想につきましては、現在未定であります。

3. 平成29年12月期の連結業績予想 (平成29年1月1日～平成29年12月31日)

平成29年12月期の通期連結業績見通しにつきましては、引き続き当社グループを取り巻く事業環境が大きく伸長することを鑑み、連結業績予想は引き続き非開示としておりますが、従来事業の積み上げ(現時点受注ベース)のみを考慮した場合でも、東証一部上場の形式要件の一つである利益の額を既にクリアし、増収増益による連続最高益を達成することが確実な状況です。今後、連結業績予想の開示が合理的に可能となった時点で速やかに開示いたします。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

29年12月期3Q	6,554,000株	28年12月期	6,527,000株
29年12月期3Q	13,000株	28年12月期	7,000株
29年12月期3Q	6,533,667株	28年12月期3Q	6,475,653株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、第4次産業革命のイノベーションをあらゆる産業や社会生活へ取り入れることにより「Society 5.0：世界に先駆けた超スマート社会」を実現する期待が高まっており、引き続き市場拡大の一途を辿っております。総務省によれば2020年までに300億個のモノがインターネットとつながると言われており、世界にあふれる情報量の増大と共に、データのコントロール・マネジメント、AIによる分析の重要性は飛躍的に拡大することが予想されます。

このような環境の中、当社事業の柱である自動運用をベースとした各種マネジメントサービスは、引き続き利益率の高い順調な受注の積上及び低い解約率を維持し、極めて堅調に推移しております。当第3四半期においては、各種広告掲載等による積極的なマーケティング費の増加やIIoT(製造業のInternet of Things)分野での投資など、今後の成長に向けたコスト増加要因が複数ありましたが、重要な経営指標と考えている経常利益は第3四半期終了時点において、既に前連結会計年度における経常利益を超過しており、当連結会計年度においても引き続き、売上高、利益ともに連続過去最高業績となることが確実となっております。また海外企業との連携もより具体化し、米国シリコンバレーにおけるIIoTプラットフォームの先駆ける企業であるLitmus Automation(米国：カリフォルニア州サンノゼ)との連携強化やIIoTプラットフォームによる新サービスの提供を開始するなど、引き続きIoTの社会を支え守り続けることへ取り組んでまいります。また、子会社Mobicommも含めた当社グループは、ニューラルアルゴリズム・通信制御・信号制御技術をベースにし、IoTデバイスがニューラルネットワーク及びプロセッサにおいて自動相互接続・自己増殖していくためのコア技術の埋め込み・開発技術を保有しており、IoTデバイス(モノ)マネージ開始へ向けて着実に進捗しております。さらに、ソフトウェアによって細胞をダイレクトに制御する再生医療分野における視覚再生プロジェクト(NEW-VISION)では、当社グループの有するデータ通信の基幹技術である信号処理技術により色信号制御アルゴリズムを確立、再生医療分野に応用し、「光を失った方(中途失明された方)に光を取り戻す(視覚再生)ための取り組み」を進めております。同プロジェクトで開発を進めている視覚再生用プリズムグラスに関しては、本年7月28日付けで日本国特許庁より特許登録され、全く新しいカタチの再生医療の取り組みとして、世界各国での特許登録に向けての取り組みも進めてまいります。

当社グループの通期連結業績見通しにつきましては、継続課金事業の当社は現時点において最高益の昨年度業績を超過しており、増収増益による連続最高益を達成することが確実となっております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高965,971千円(前年同期比25.7%増)、営業利益253,317千円(前年同期比51.1%増)、経常利益256,272千円(前年同期比56.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益183,797千円(前年同期比63.5%増)となりました。

なお、当社グループはマネジメントサービス事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、1,059,768千円(前連結会計年度末比176,783千円増)となりました。これは主に、現金及び預金が増加(前連結会計年度末比163,039千円増)したことによるものであります。

また、固定資産は、535,128千円(前連結会計年度末比83,797千円増)となりました。これは主に、投資有価証券が増加(前連結会計年度末比104,379千円増)したことによるものであります。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末における総資産は、1,594,897千円となり、前連結会計年度末に比べ260,581千円増加いたしました。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、237,395千円(前連結会計年度末比17,864千円増)となりました。これは主に、未払法人税等が増加(前連結会計年度末比16,619千円増)したことによるものであります。

また、固定負債は、155,786千円(前連結会計年度末比7,815千円増)となりました。これは主に、長期借入金が増加(前連結会計年度末比22,491千円増)した一方で、固定負債のその他に含まれる繰延税金負債が増加(前連結会計年度末比37,072千円増)したことによるものであります。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末における負債は、393,181千円となり、前連結会計年度末に比べ

25,679千円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、1,201,716千円（前連結会計年度末比234,901千円増）となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が増加（前連結会計年度末比183,797千円増）、その他有価証券評価差額金が増加（前連結会計年度末比83,828千円増）したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年12月期の通期連結業績見通しにつきましては、引き続き当社グループを取り巻く事業環境が大きく伸長することを鑑み、連結業績予想は引き続き非開示としておりますが、従来事業の積み上げ（現時点受注ベース）のみを考慮した場合でも、東証一部上場の形式要件の一つである利益の額を既にクリアし、増収増益による連続最高益を達成することが確実な状況です。今後、連結業績予想の開示が合理的に可能となった時点で速やかに開示いたします。

1. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	618,268	781,307
売掛金	237,659	234,068
仕掛品	1,212	8,121
その他	25,950	36,318
貸倒引当金	△106	△47
流動資産合計	882,985	1,059,768
固定資産		
有形固定資産	97,883	86,518
無形固定資産		
のれん	56,655	46,032
その他	8,923	7,871
無形固定資産合計	65,579	53,904
投資その他の資産		
投資有価証券	200,411	304,791
その他	88,212	90,671
貸倒引当金	△756	△756
投資その他の資産合計	287,868	394,706
固定資産合計	451,331	535,128
資産合計	1,334,316	1,594,897
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	40,338	52,836
1年内返済予定の長期借入金	29,988	29,988
未払法人税等	54,523	71,142
その他	94,682	83,428
流動負債合計	219,531	237,395
固定負債		
長期借入金	80,032	57,541
資産除去債務	3,649	3,665
その他	64,288	94,579
固定負債合計	147,970	155,786
負債合計	367,501	393,181
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	323,107	326,482
資本剰余金	300,037	299,630
利益剰余金	307,719	491,516
自己株式	△85,654	△121,346
株主資本合計	845,210	996,284
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	121,601	205,429
その他の包括利益累計額合計	121,601	205,429
新株予約権	3	2
純資産合計	966,814	1,201,716
負債純資産合計	1,334,316	1,594,897

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
売上高	768,212	965,971
売上原価	295,904	320,181
売上総利益	472,307	645,789
販売費及び一般管理費	304,622	392,472
営業利益	167,685	253,317
営業外収益		
受取利息	86	59
助成金収入	917	3,758
その他	174	47
営業外収益合計	1,178	3,865
営業外費用		
支払利息	509	187
支払手数料	2,402	26
為替差損	1,670	498
その他	385	198
営業外費用合計	4,967	910
経常利益	163,895	256,272
特別利益		
投資有価証券売却益	11,220	49,254
特別利益合計	11,220	49,254
特別損失		
投資有価証券評価損	—	13,661
本社移転費用	1,094	—
特別損失合計	1,094	13,661
税金等調整前四半期純利益	174,021	291,865
法人税、住民税及び事業税	53,073	98,636
法人税等調整額	8,530	9,312
法人税等合計	61,603	107,949
四半期純利益	112,417	183,915
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	118
親会社株主に帰属する四半期純利益	112,417	183,797

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	112,417	183,915
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	131,934	83,828
その他の包括利益合計	131,934	83,828
四半期包括利益	244,351	267,743
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	244,351	267,625
非支配株主に係る四半期包括利益	—	118

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年9月4日開催の取締役会決議に基づき、自己株式6,000株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が35,692千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が121,346千円となっております。

(セグメント情報等)

当社グループは、マネジメントサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。